

コーポレートファイナンス

第2回小テスト

学籍番号 _____ 専攻名 _____ 氏名 _____

問題

問1. 以下の各文を読み、内容が正しければ()の中○を、誤っていれば×を記入せよ。(4点×5)

1. 優良企業は、営業活動、投資活動、財務活動によるキャッシュフローが全てプラスの値になることが多い()
2. 売掛金や在庫の増加は、フリーキャッシュフローの減少要因である()
3. 財務レバレッジ(負債比率)を高めてもROA(総資産利益率)の値は変わらない()
4. 配当政策の変更や自社株取得は株主価値に影響を与えないが、それらのシグナリング効果を通じて株主に影響を与えることはありうる()
5. 類似企業比較法(マルチプル法)でよく用いられるEBITDA倍率は、一般的にEBITDAを企業価値(株式時価総額+ネット・デット)で割ったものとして定義される()

問2. 以下の問に答えよ。

1. DCF法で必要となるフリーキャッシュフロー(FCF)の計算方法は本によって微妙に異なるが、以下のような式で定義される場合に()内に入る適当な用語をそれぞれ答えよ。(3点×4)

フリーキャッシュフロー

$$\begin{aligned} &= (\quad) \times (1 - \text{税率}) + (\quad) - (\quad) \\ &- (\quad) \text{増加額} \end{aligned}$$

2. 以下の条件の下で、WACC(加重平均資本コスト)を計算せよ。(8点)

負債(時価): 50億, 株主資本(時価): 200億, 負債コスト: 4%,
株主資本コスト: 12%, 実効税率: 40%

(計算式) _____

WACC = _____

(裏面につづく)

問 3. 以下の問に答えよ。

1. 以下の情報の中から必要なものを用いて、配当割引モデル (Dividend Discount Model) に基づく理論株価を算出せよ。(5 点)

次年度の 1 株あたり FCF : 36 円, 次年度の 1 株あたり配当 : 18 円,
株主資本コスト: 9%, WACC : 6%,
FCF 成長率 : 2%, 配当成長率 : 0%, PER : 20 倍, PBR : 1.5 倍

2. 負債が企業価値に与える影響について、次の言葉を用いて説明せよ。(5 点)
MM理論, 節税効果, 財務破綻コスト